

真の価値を創造する  
西華産業

# VALUE



第96期【中間】株主通信

2018年4月1日→2018年9月30日



西華産業株式会社  
SEIKA CORPORATION

証券コード:8061



代表取締役社長 社長執行役員

櫻井 昭彦

## ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたび相次ぎました自然災害において被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

当社の第96期(中間)株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2017年4月よりスタートいたしました3か年の中期経営計画「CS2020」は折り返し地点を迎えました。当社グループを取りまくビジネス環境が目まぐるしく変化中、全体戦略であります「新たなビジネスモデルの構築」「従来ビジネスの進化」「グループ経営・グローバル戦略の加速」「人材育成および職場環境の充実」に着実に取り組み、最終年度(2020年3月期)の目標であります当期純利益27億円の達成を目指してまいります。

また、西華産業は創業以来、自ら困難に対し果敢に挑戦するという進取の精神を持ち70年の歴史を築いてまいりました。厳しい事業環境に直面しようとも、「雲外蒼天」の気持ちを持って当社グループ一丸となって邁進してまいります。

株主をはじめとしたステークホルダーの皆様方にとって、未来永劫に価値ある企業集団であり続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

	2018年3月期実績	2019年3月期第2四半期実績	2019年3月期予想
売上高	1,655 億円	976 億円	1,750 億円
営業利益	25.9 億円	8.6 億円	31.0 億円
経常利益	28.7 億円	9.9 億円	34.0 億円
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	16.5 億円	8.3 億円	22.0 億円

## 座右の銘

## 雲外蒼天

厳しい事業環境に直面しようとも、「雲外蒼天」の気持ちを持って当社グループ一丸となって邁進してまいります。

## Q1 まずは第96期中間期の業績についてお聞かせください。

A1 当中間期におけます当社グループの連結業績につきましては、化学・エネルギー事業において石油会社向け発電設備の大口受渡があり、また電力事業においても電力会社向け発電設備用大型部品等の売上が増加しました結果、売上高は976億76百万円(前年同期比48.3%増)と前中間期を上回りました。

しかしながら、産業機械事業においてリチウムイオン電池用関連設備の受渡が下期に集中することから、セグメント利益が前中間期を下回り、営業利益は8億60百万円(同24.9%減)、経常利益は9億92百万円(同22.8%減)となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などの特別利益を計上したこと等により、8億37百万円(同8.6%増)となりました。

## Q2 社長に就任されてから半年、振り返っていかがでしたか？

A2 本年4月の社長就任後、取引先への挨拶訪問に加え、全国場所長会議、関係会社戦略会議、決算説明会、株主総会など会社の基軸となる重要な行事もあり、慌ただしく半年間が過ぎました。その間、今までの事業投資の進捗度合いを含む現状の当社収益力の精査を行った結果、将来に向けた事業規模拡大のためには、「事業の選択と集中」・「経営資源の最適配分」を加速的に進める必要性を強く感じた次第です。

また株主総会やコーポレートガバナンス・コード改定を通じて、改めて株主様に対する受託者責任・説明責任を再認識するとともに、会社の持続的成長と中長期的な企業価値向上のため、社長として果たすべき役割の重さも痛感いたしました。厳しいビジネス環境にありますが、収益拡大のための実効性ある施策の策定など様々な課題を社外取締役はじめ全役員、全社員の協力を得ながら克服し、当社がステークホルダーの皆様

と、価値ある企業集団になるように努めてまいります。

そして、当社が健全な事業活動を尊重する企業文化や風土を持ち続ける企業であるようリーダーシップを発揮していきたいと考えております。

## Q3 第96期の見通しをお聞かせください。

A3 当社グループを取り巻くビジネス環境は、化学業界の業績好調による自家発電大型商談が増加傾向にあり、また中国向けリチウムイオン電池用関連設備商談の継続受注が見込まれる等、全体的に少し明るさが見えてまいりました。

このような状況の下、2019年3月期の業績見通しは、連結では、売上高1,750億円(前期比5.7%増)、営業利益31億円(同19.3%増)、経常利益34億円(同18.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益22億円(同32.9%増)と増収増益を見込んでおります。

中期経営計画2年目の数値目標であります当期純利益24億円には届いておりませんが、木目細かな営業活動を展開し、目標を達成したいと考えております。

## Q4 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A4 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとしており、安定的な配当をすることを基本方針とし、配当性向35%を目途にする政策を継続しています。

2019年3月期の配当金につきましては、上記の配当政策に基づきまして、中間配当25円の実施に加えて、期末配当30円を加えた年間55円とさせていただきます。

今後も長期にわたって、株主の皆様へ安定した配当を実施できるよう努力してまいります。

電力事業

電力会社や共同火力向けにボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備を販売、原子力発電所向けにセキュリティ設備や消火設備などを販売しております。

発電プラント



2019年3月期第2四半期の概況

売上高	セグメント利益
30,109百万円 (前年同期比) +32.3%	823百万円 (前年同期比) △8.2%

電力会社向け発電設備用大型部品等の売上が増加となったもののセグメント利益は823百万円にとどまりました。

化学・エネルギー事業

化学プラント



化学会社、石油会社、製紙会社、鉄鋼会社、鉄道会社向けに発電設備やプロセス用製造設備の販売を行っております。

2019年3月期第2四半期の概況

売上高	セグメント利益
40,799百万円 (前年同期比) +188.3%	473百万円 (前年同期比) +24.7%

石油会社向け発電設備の大口受渡があり、売上が大幅な増加となり、セグメント利益は473百万円と伸長しました。

グローバル事業

本事業は海外13か国、24拠点で以下の事業を展開し、グループの総合力を発揮して産業界の発展に貢献しております。

- 欧州：工事用水中ポンプの販売・レンタル事業、産業用ロボットの販売など
- 北米：日系自動車業界向け基板実装関連設備の販売など
- アジア：化学・繊維その他一般産業向け機械設備、原材料の販売など



Tsurumi (Europe) GmbH  
取扱製品：水中ポンプ

2019年3月期第2四半期の概況

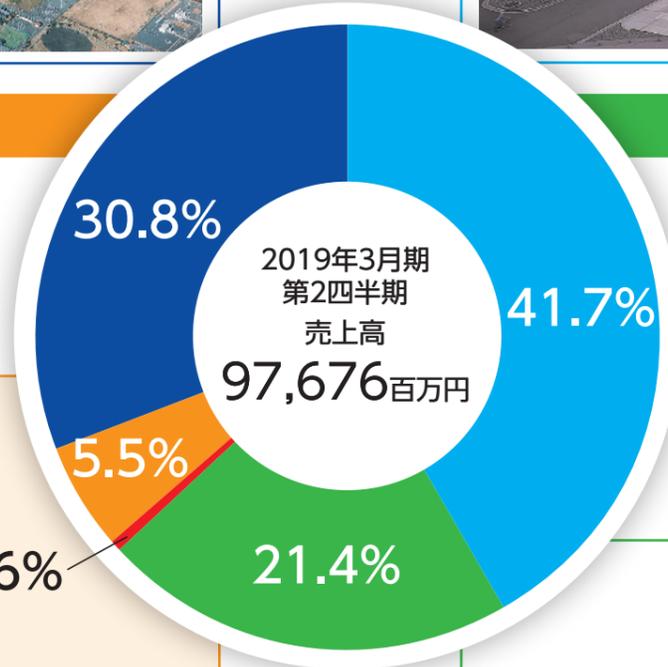
売上高	セグメント利益
5,324百万円 (前年同期比) +1.3%	106百万円 (前年同期比) +59.6%

Tsurumi (Europe) GmbH(ドイツ)  
Seika Sangyo GmbH(ドイツ)  
Seika Machinery Inc.(米国)  
欧米子会社の業績が順調に推移いたしました。

トピックス

2019年1月、ベトナム・ホーチミン市にベトナム現地法人設立予定  
中期経営計画「CS2020」に掲げておりますグループ経営・グローバル戦略を推進中であります。

売上高構成



産業機械事業

医薬、食品関連設備やプラントエンジニアリングなど幅広い産業分野の顧客に対して、設備や機器を販売するほかメンテナンスも提供しております。また、電気自動車向けリチウムイオン電池用関連設備の販売も行っております。



リチウムイオン電池

トピックス

2018年7月、東広島事務所開設  
UPS(無停電電源装置)のサービス拠点として、事業拡大を目指します。

2019年3月期第2四半期の概況

売上高	セグメント利益
20,891百万円 (前年同期比) △7.5%	530百万円 (前年同期比) △34.6%

子会社の日本ダイヤバルブ株式会社の業績は順調に推移いたしましたが、リチウムイオン電池用関連設備の売上が下期に集中する見込みであります。

素材・計測事業

電子機器用プリント基板などを販売しているほか、先端技術を駆使した計測機器をはじめ、産業機械向けの環境保全用計測装置や、水処理関係装置などを幅広く扱っております。



We always support solutions to you by high resolution of digital image and high performance technology.

西華デジタルイメージ株式会社 取扱製品:流速計測システムPIVほか

トピックス

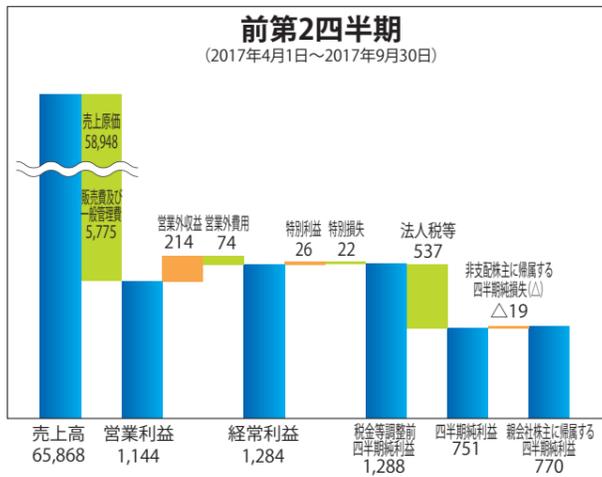
2018年9月26日に公表しました通り株式会社エヌ・エス・テックに係る株式譲渡および債権放棄により、同社を連結の範囲から除外いたしました。  
本事業については、経営資源の選択と集中を進め、来年度にはセグメント赤字からの脱却を目指してまいります。

2019年3月期第2四半期の概況

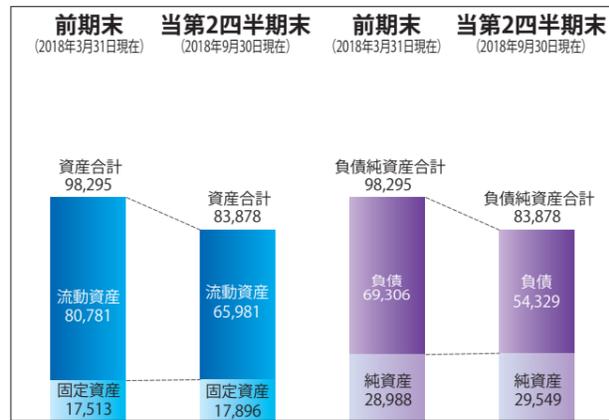
売上高	セグメント利益
552百万円 (前年同期比) △50.8%	△230百万円 (前年同期比) △5.4%

電機業界における市場環境の変化によりプリント基板素材の売上減少や、子会社西華デジタルイメージ株式会社の業績の低迷が影響しました。

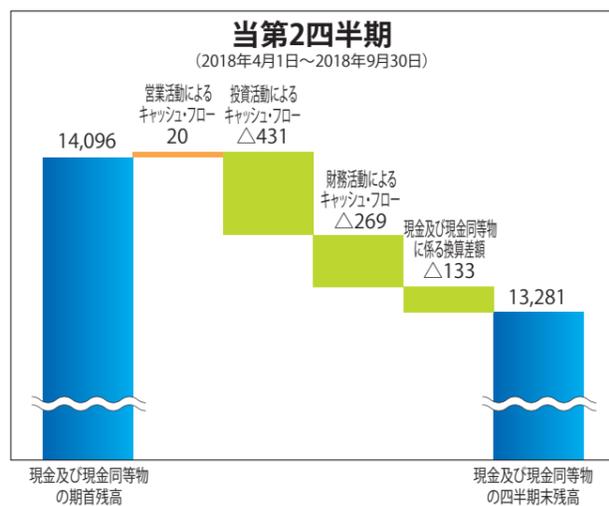
損益計算書より (単位:百万円)



貸借対照表より (単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書より (単位:百万円)



主要財務指標ハイライト

	前期末 (2018年3月31日現在)	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	増減 (%)
資産合計	98,295	83,878	△ 14.7
流動資産	80,781	65,981	△ 18.3
固定資産	17,513	17,896	2.2
負債合計	69,306	54,329	△ 21.6
流動負債	63,911	48,889	△ 23.5
固定負債	5,394	5,439	0.8
純資産合計	28,988	29,549	1.9
負債純資産合計	98,295	83,878	△ 14.7

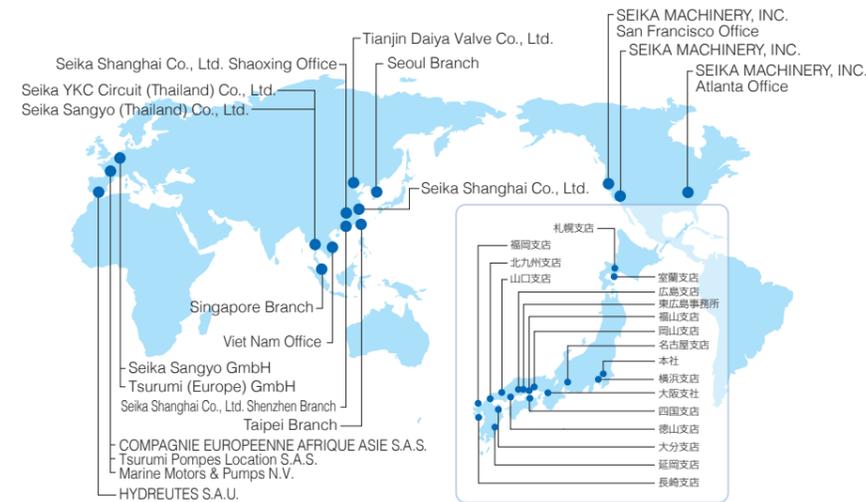
	前第2四半期 (2017年4月1日～2017年9月30日)	当第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)	増減 (%)
売上高	65,868	97,676	48.3
営業利益	1,144	860	△ 24.9
経常利益	1,284	992	△ 22.8
親会社株主に帰属する当期純利益	770	837	8.6

当社の概況 (2018年9月30日現在)

設立年月日 1947年(昭和22年)10月1日  
 資本金 67億28百万円  
 事業所 (国内) 本社: 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号  
 大阪支社: 大阪市北区堂島浜一丁目4番4号  
 支店: 札幌、室蘭、横浜、名古屋、岡山、福山、東広島、広島、徳山、山口、四国、福岡、北九州、長崎、大分、延岡  
 (海外) 支店: 台北、ソウル、シンガポール  
 駐在員事務所: ベトナム

従業員数 933名(連結) 314名(単体)

連結子会社 (国内) 日本ダイヤバルブ株式会社  
 株式会社竹本  
 西華デジタルイメージ株式会社  
 敷島機器株式会社  
 (海外) Seika Sangyo GmbH(ドイツ)  
 Tsurumi (Europe) GmbH(ドイツ)  
 COMPAGNIE EUROPEENNE AFRIQUE ASIE S.A.S.(フランス)  
 HYDREUTES, S.A.U.(スペイン)  
 Tsurumi Pompes Location S.A.S.(フランス)  
 Marine Motors & Pumps N.V.(ベルギー)  
 SEIKA MACHINERY, INC.(アメリカ)  
 西暁貿易(上海)有限公司(中国)  
 天津泰雅閥門有限公司(中国)  
 Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.(タイ)  
 Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.(タイ)



役員 (2018年9月30日現在)

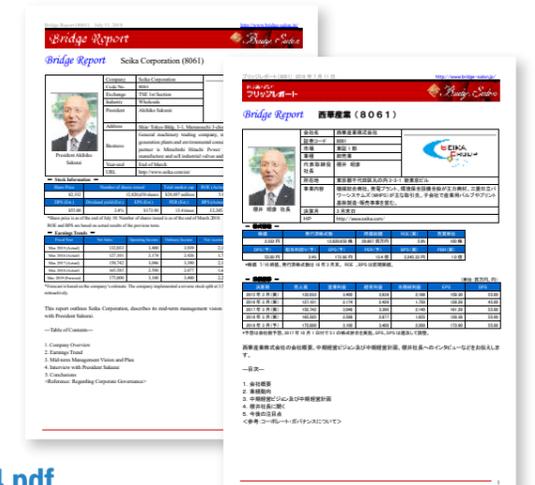
代表取締役社長	櫻井 昭彦
取締役専務執行役員	山下 真佐明
取締役常務執行役員	高橋 正憲
取締役上席執行役員	川名 康正
取締役上席執行役員	後藤 基
取締役(社外取締役)	白井 裕子
取締役(社外取締役)	深尾 隆久
監査役(常勤)	高橋 昌志
監査役(常勤)	平山 龍彦
監査役(社外監査役)	森 好伸
監査役(社外監査役)	毛野 泰孝
上席執行役員	福里 克彦
上席執行役員	横山 幸則
執行役員	増田 博久
執行役員	高橋 紀行
執行役員	安武 泰治
執行役員	碓井 一俊
執行役員	尾上 一彦

企業レポート

当社ホームページに新しく企業レポート(日本語版・英語版)を掲載いたしました。株式投資・IR情報ポータルサイトであるブリッジサロンにも掲載しております。今後、年2回のタイミングでレポートを更新してまいります。株主の皆様へ様々な情報発信に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞご覧ください。



[http://www.bridge-salon.jp/tekiji/upload/8061\\_00032524.pdf](http://www.bridge-salon.jp/tekiji/upload/8061_00032524.pdf)



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.seika.com/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ◆お知らせ◆

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- (3) 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。

## 株式の状況

Stock Information

株式の状況 (2018年9月30日現在)

### 株式数および株主数

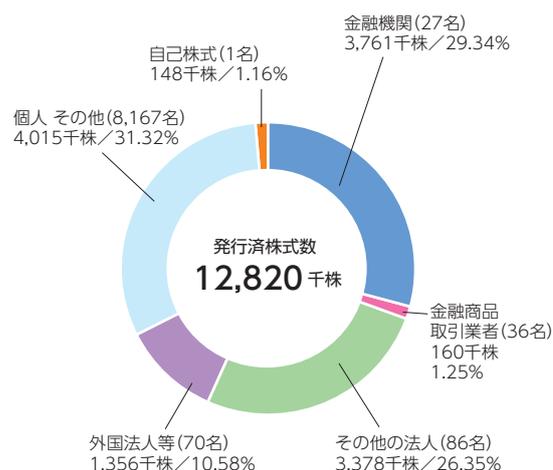
発行可能株式総数 37,705,800株  
発行済株式の総数 12,672,352株  
(自己株式148,298株を除く)  
株主数 8,387名

### 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱日立パワーシステムズ株式会社	826	6.52
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	747	5.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	509	4.02
株式会社三菱UFJ銀行	400	3.16
株式会社山口銀行	352	2.78
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS-JAPAN AGGRESSIVE	321	2.53
日機装株式会社	318	2.51
三菱電機株式会社	286	2.26
株式会社鶴見製作所	267	2.11
三菱化工機株式会社	250	1.98

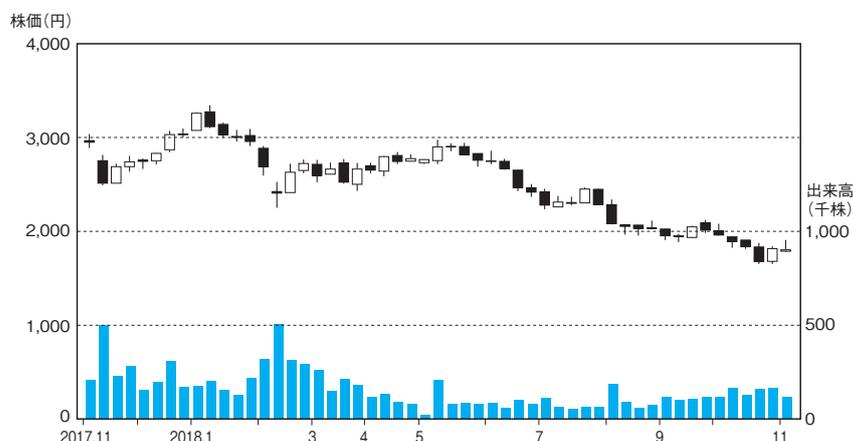
(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。  
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
③2018年5月21日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、フィデリティ投資株式会社が2018年5月21日現在で1,216,000株(保有割合9.48%)を所有している旨が記載されております。しかし、当社として2018年9月30日現在における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

### 所有者別株式分布状況



(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。  
②発行済株式数には自己株式148千株を含んでおります。

### 株価および 株式売買高の推移



SSC 西華産業株式会社  
SEIKA CORPORATION

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 (新東京ビル)  
Tel 03-5221-7101 URL <http://www.seika.com/>

<http://www.seika.com/>

西華産業

検索